第十二　各歌曲教授上の注意

尋常第一學年

一　日の丸の旗

一、四分音符、十六小節よりなれる流暢なる旋律なり。

二、四小節を一息に唱はしむるやう練習すべし。

三、最後の二小節は、漸次弱聲にして心持ち聲を延ばして歌はしむるをよしとす。

四、最初は書物通りにし、練習の場合には速度をはやめて(120)位にして歌はしむべし。

五、最初は半音下げて「ホ」調にて授くるを宜しとす。

六、全曲元氣よく歌はしむべし。

二　鳩

一、「息ッギ」は記號のある通りに行はしむべし。

二、此の曲節には休止符なし。斯かる場合には息をつぐ前の音符より、八分休止符の時間を取りて歌はしむべし。

三、「ポッポッポ」は「ポーッポーッポ」の如く延ばして歌はしむべし。

四、練習中は「ホ」調にし、出來上りたらば原調に復し、拍子も(100)位に早むべし。

五、全曲輕快に歌はしむべし。

三　兎と龜

一、附點音符の音長を正しく保ち、温和なる軍歌調にて面白く歌はしむべし。

二、練習の際は、兎と龜との組を作りて歌はしむるも可なり。

三、第三歌詞の終り四小節の「グーグーグーグー」の所速度を緩め、第四歌詞の始め四小節「コレハネスギタシクジッタ」を少しく早め、次の四小節「ピョンピョン」は一層速度を早めて歌はしむべし。

四　風車

一、同度音程の移り變りに氣を付くべし。

二、四分音符の音長に注意すべし。

三、二拍子の拍法により、第一拍を強く歌はしむべし。

四、最初は二小節づつ歌はしめ、出來上りたらば休止符以外にて息をつがせぬやう注意すべし。

五、快活に歌はしむべし。

五　かたつむり

一、息つぎは二小節づつにて授け、練習の後には四小節づつとすべし。

二、第二段第一小節の半音程に注意すべし。

三、第三段の第一小節と第二小節とは、一小節づつ歌はしめて音律を正すべし。最後の二小節は目立たぬやう弱く歌はしむるを宜しとす。

六　牛若丸

一、初めは二小節づつにて息をつがせ、次第に一息にて唱はしむべし。

二、全體を中等の強さにて歌はしむべし。

三、第三段の初め二小節は中弱にても可なり。

四、速度は書物(譜)より少し早き方可なり。

五、勇ましく元氣よく歌はせ、時に歩調に合して歌はしむるも可なり。

七　桃太郎

一、第二段第三小節と第三段第二小節とは、何れも拍子上の強弱が反對になる傾あり。特に注意を要す。從つて全曲中の「6」音を輕く綺麗に歌はしむるやう勉むべし。

二、出來上りたらば組を分ちて歌はしめ、又手拍子を打たせて合さしむるも可なり。

三、愉快に歌はしむべし。

八　池の鯉

一、第一段第三小節の弱聲部なる半音程は正しく歌はせ、且つ此の「4」音は極めて柔かに輕く發聲させ、第四小節の「ヒ」の音も輕く一拍半だけ引かしむべし。

二、第二段第三小節の同音に高低のつかざるやう注意すべし。

三、第三段の初め二小節「手ノナル音ヲ」のところは強く、最終の小節「聞イタラ來イ」のところは極めて弱く、且つ輕く歌はしむべし。

四、此の曲の最終音は短かく且つ弱きがために、何となく物足らざる感あれど、併しそこが此の曲節の面白味のある所なり。

五、全曲面白く歌はしむべし。

九　鳥

一、此の曲も最初は二小節づつ歌はしめ、後には一段を一息にて歌はしむべし。

二、だらけざるやう、教授者は拍子に十分注意すべし。

三、第一段第二小節の「5」が「3」に誤り易し。注意すべし。

四、第一段第二小節の「5」が附點音符にならざるやう注意すべし。

五、曲中の「6」音を輕快に發音すべし。

一〇　君が代

一、壹越調律旋法に屬し、ハ調長旋法に相當する樂曲なり。

二、兒童の音量稍〻弱しと思ふほどに止め置きて、拍子の遲くならぬやう注意すべし。速度は「メトロノーム」(60)が正當なるに二倍三倍乃至五倍も拍子の遲きものあるは大に愼むべきことなりとす。さりとて餘りに急速なるも亦輕卒の嫌なき能はず。要するに其の速度には十分の注意を要す。

三、「君が代」は何回唱へしむべきか。これには一回說・二回說・三回說等あれども、二回說を最も適當なりとす。「君が代」の曲は十一小節といふ短かき半端の奇數樂章なれば、一回にては何となく物足らざる感あり。殊に目出度き歌章なれば、其の思ひを高むるために、今一度重ねて歌はしむるをよしとす。

三回說は萬歲三唱に因みて唱ふるものなるが、萬歲の三唱は丁度口調が三回を適當とすれども、萬歲の二字に比べて殆ど幾十倍も長き「君が代」を三回繰り返すことは、反つて長きに過ぐるの感あり。故に二回の唱詠を以て最も適當なりとす。

一一　月

一、出來上りたらば少しく早く歌はしむべし。(96)

二、最初は二小節づつにて息をつがしむべし。

三、第一拍を明瞭に歌はしめて、二拍子の强弱に特に注意すべし。

四、第二段は一般に拍子が遲くなる傾きあり。特に注意すべし。

五、第三段第一小節の「ノ」を際立たざるやう優しく歌はしむべし。

六、全曲美しく歌はしむべし。

一二　樂隊遊び

一、最初は二小節づつ歌はしむべし。

二、附點音符に注意し、快活に歌はしむべし。

三、最終二小節「トテチテタ」は、輕く明瞭に歌はしむべし。

四、第二段第六小節「オ」の「7」音を確かに歌ひ、且つ音度の下らぬやう注意すべし。

一三　木口小平

一、活潑に稍々悲壯の感を以て歌はしむべし。
二、最初は二小節づつにて息をつがせ、後には四小節づつ續けて歌はしむべし。
三、軍歌調なれば、二拍子の第一拍の强聲を明瞭に歌はしむべし。
四、速度は「メトロノーム」四分音符(♩=96)が適當なり。

一四　紙鳶の歌

一、最初より四小節づつ續けて練習すべし。
二、速度は稍々速かに(♩=116)位にすべし。
三、二拍子の强聲部なる第一拍を明瞭に歌はしむべし。
四、曲中の半音程を曖昧に歌ふもの多し。特に注意すべし。
五、「6」音を奇麗に歌はしむべし。
六、全曲成るべく急拍子に、且つ輕快に面白く歌はしむべし。

一五、紀元節

一、「ナビキフシケン」の處、無理のなきやう發聲せしむべし。

二、第一章は中强(武德)、第二章は弱(仁德)、第三章は中强(皇基)、第四章は强(國身)にて歌はしむべし。

此の歌詞は高尙にして、第一・二學年に適せざれば其の意味を說かず。唯暗記せしむる位に止め置くべし。

三、此の唱歌は長きに過ぐとのことにて、第二章までしか歌はせざる所あれど、四章にて纏まれる歌詞なれば、是非四章とも歌はしむる方よろしからん。尤も本學年には第二章まで課し、第三・四學年に至りて第三・四章を授け、其の意義を敎授するも可なり。

一六　花咲爺

一、最初「ヘ」調にて授け、出來上りたらば原調に復するもよし。

二、初より四小節づつ續けて歌はしむべし。

三、附點音符と單純音符との音長を正しく區別し、聲を續けるやうに美しく歌はしむべし。

四、第四段終り二小節「ザクザクザク」の處「スタッカト」のやうにならざるやう注意すべし。

五、第一段及び第二段第一小節の $\begin{array}{|c|}\hline 532 \\ \cdot\,-\,- \\ \hline\end{array}$ を $\begin{array}{|c|}\hline 132 \\ -\,- \\ \hline\end{array}$ に改めて授くるも可なり。

六、全曲爽快に歌はしむべし。

一七　櫻

一、出來上りたらば、遲くも(二分)位に早めて歌はしむべし。

二、第一段と第三段にある(𝄽—𝅗𝅥)の半音程を正しく滑かに歌はしむべし。

三、各段最後の二分附點音符は、稍々もすると短かくなり勝なれば、三拍間保たしむることに注意すべし。

四、二小節づつにて息をつがしむべし。

五、第一段と第二段と第四段とを中强に、第三段を强にて歌はしむべし。

一八　二宮金次郎

一、快活なる軍歌調なり。初は二小節にて息をつがせ、順次練習を積むに従ひ、一段を一息に歌はしむべし。

二、第一段第二小節の「ヒ」音と、第三段第一小節の「イ」音とは共に上らず、曖昧になり易し。又第三段第二小節の「ナカ」の $\binom{3.3}{1}$ が $\binom{3.4}{1}$ に誤り易ければ特に注意すべし。

三、第四段は第三段までの忙しき歌ひ方を落付かせる所なれば、稍々拍子を緩めて得意に歌はしめ、尚は最後の拍子を正確に保たしむべし。

四、第一段、第二段を中強に、第三段は次第に強く、第四段を強にて歌はしむべし。

五、誠實の心を以て歌はしむべし。

一九　小馬

一、語句も著想も兒童的にして、快活なる面白き歌章なれば、輕快に歌はしむべし。

二、最初は二小節づつにて息をつがせ、後には四小節を一息に歌はしむべし。

三、第一段第一・二小節の「ハィ」は強く、「シィ」は稍稍弱く、最後の「マ」音は輕く歌はしむべし。

四、最終の一小節は殊に漸次減聲にすべし。

五、第一段中强、第二段の前半中强、後半稍弱、第三段前半中弱、後半稍强、第四段を中强にて歌はしむべし。

二〇　蛙と蜘蛛

一、平易快活なる曲にして、歌詞も亦面白し。

二、息つぎは始めはすべて二小節づつとし、後には記載の通りにすべし。

三、最終音を除く外各段の息つぎは、前の四分音符を悉く八分音符に歌ひ、八分休止符を取るべきなり。

四、第一段第一小節「連結記號」のある處は四分音符に奏し、且つ歌はしむべし。

五、第二段第一小節より第二小節に移る四度音程は最も誤り易ければ特に注意すべし。同第四小節の「ビ」音は輕く歌はしむべし。

二一、池に金魚

一、第一段第一・二小節及び第二段第二・四・五・六小節の四分音符の音長を正しく保つことに注意すべし。

二、第一段第七小節の「タ」の「ｱ・」音を曖昧に歌はざること及び同第八小節の終りを軽く歌はしむべし。

三、全曲快活に歌はしむべし。

四、第一段前半は中強、後半は弱、第二段の前半は強、後半は中強、第三段は弱聲にて歌はしむべし。

二二　浦島太郎

一、平易流暢なる軍歌調の曲節なり。

二、息つぎは最初は二小節づつ、後には一段落（四小節）づつを一息に歌はしむべし。

三、出來上りたらば少し早めに（一〇二）歌はしむべし。

四、第一段第二小節同第六小節、第二段第二小節に於ける四分音符は歌詞の事情により八分音符二箇に分ちて歌はしむべし。

五、此の曲節は第一拍と第二拍とに於て、附點音符の使ひわけあり。特に注意すべし。

六、第一段前半は中强、後半は中弱、第二段の前半は强、後半は中强にて歌はしむべし。

二三　仁田四郎

一、最初は二小節づつにて息をつがせ、(92)位にて緩徐に歌はしむべし。

二、第一段第三小節の(ヒ)音が曖昧になり、第四小節に移る處が目立つ恐れあり。注意すべし。

三、第二段第三小節の「ピ」の(4)音を輕く歌ふべし。

四、第三段の終りは「峯山子」同樣、完全五度にて終れるが故に、稍々壯嚴の感を表はすべき意味合あれば「ヤマカケ」より拍子を緩めて聲をゆつくり使用せしむべし。

五、二拍子の第一拍(附點八分音符)を強く唱はしむべし。

六、全體を勢よく強聲にて爽快に歌はしむべし。

二四　案山子

一、息つぎは二小節づつをよしとす。

二、順次練習を積むに隨ひ、次第に速度を早めて(138)までにすべし。

三、四拍子の規則に從ひ、第一拍と第三拍との強聲を明瞭に歌はしむべし。

四、第一段第三小節の八分音符は、稍々輕快に歌はしむべし。

五、第三段第三小節の「チ」の(6)音を奇麗に、且つ第四小節の「ドホシ」を圓滑に歌はしむべし。

六、最後は完全五度にて終れるを以て「仁田四郎」同樣なれば「ヤマダノ」から次第に拍子を緩めて、聲をゆつくり使用せしむべし。

七、第一段中强、第二段稍々弱く、第三段中弱、第四段强にて歌はしむべし。

八、面白く歌はしむべし。

二五、菊の花

一、二拍子の規則に従ひ、第一拍の強聲部の八分音符を明瞭に歌はしむべし。

二、第一段第四小節の「ガ」音、同第八小節の「ズ」音、同第三段第二小節の「レ」音及び同第四小節最終の「ク」音を輕く歌はしむべし。

三、第二段第一小節「ハナ」の(6)音が(5)音に誤り易し。特に注意すべし。

四、第二段第三、七小節の八分音符を輕く滑かに歌はしむべし。

五、全曲優美に歌はしむべし。

二六　一月一日

一、最初は二小節づつにて息をつがせ、後には四小節づつ續けて歌はしむべし。

二、四拍子の拍法に従ひ、第一拍と第三拍とを明瞭に強く歌はしむべし。

三、第一段と第二段との第三小節の「タメシトテ」と「カドゴト、ニ」とを曖昧に歌はしめざるやう、音度に注意すべし。

四、第二段第六、同第七小節の「ケフコソタノシケレ」の所の音度に注意し、(5—4)と(4—2)の音程を明瞭に輕く歌はしむべし。

五、樂しく愉快なる情を以て歌はしむべし。

二七　時計の歌

一、歌詞は此の學年程度の兒童に適し、曲節も亦快活なり。

二、息つぎは最初はすべて二小節づつとす。息つぎのときは前の音符を極めて短かく歌はしむるやうにすべし。

三、「スタッタト」のある四分音符は、何れも八分音符に歌はしむべし。

四、第一段第五七小節にある「5」音は、何れも輕快に歌はしむべし。

五、第一段第八小節の終り(5)音は、鬼角下り難ければ特に注意を要す。

六、二拍子の強弱を明瞭に歌ひ分けしむべし。

二八　鶯

一、愉快なる情を以て歌はしむべし。

二、最初教授の際は「ヘ」調にて歌はしむるも可なり。

三、二拍子の拍法に従ひ、第一拍を強く明瞭に歌はしむべし。

四、四小節づつにて息をつがしむべし。

五、息つぎの時は前の四分音符を短かくして、休止符を作るべし。

六、第二段第六、七小節にある四分音符の音長に注意すべし。

二九　大黒様

一、悲哀の情を以て歌はしむべし。

二、二拍子の拍法に従ひ、第一拍を明瞭に強く歌はしむべし。

三、最初より四小節を一息に歌はしむべし。

四、連結記號のある處は四分音符に奏し、且つ歌はしむべし。

五、此の曲は嬰「ヘ」短調にして、關係「イ」調長音階なり。

三〇　那須與一

一、平易快活なる軍歌調の曲節なれば、温和なる間に元氣を以て歌はしむべし。

二、最初は二小節づつにて息をつがしむべし。

三、出來上りたらば少しく速度を早めて（一〇二）歌はしむべし。

四、二拍子の拍法に從ひ第一拍を強めて歌はしむべし。

五、第一段前半は中強、後半は稍弱、第二段前半は中弱、後半は強にて歌はしむべし。

三一　卒業式

一、第二、三歌詞は卒業兒童の合唱するものなればここには之を省く。

二、最初は「ホ」調にて授け、練習を積むに隨ひ原調即ち「ト」調に復すべし。

三、四拍子の拍法に從ひ、第一拍と第三拍とを強く歌はしむべし。

四、最初は二小節づつにて息をつがしむべし。

五、拍子のだらけざるやう、特に注意すべし。

三二　ぼちとたま

一、面白く歌はしむべし。

二、最初は二小節づつにて息をつぎ練習を積むに從ひ四小節づつ續けて歌はしむべし。

三、第二段第二小節より第三小節に移る五度音程に注意し、且つ「ナッタナラ」を輕く歌はしむべし。

四、第一段中强、第二段始め二小節と後半の前二小節とを强にて歌はしむべし。

五、八分音符が附點音符にならざるやう注意すべし。

六、二拍子の拍法に從ひ、第一拍を明瞭に歌はしむべし。

三三　おきやがりこぼし

一、面白く歌はしむべし。

二、すらりとした旋律なれど、八分休止符を以て起れるが故に、拍子の上に多大の困難あることに注意すべし。

三、息つぎは最初は二小節づつとし、稍々習熟するに及び四小節にて息をつがしむべし。

四、第二段の前半を強聲に他は中強にて歌はしむべし。

尋常第三學年

三四　櫻

一、全曲優美に歌はしむべし。

二、第三段第一・二小節の所稍々緩かに、特に明確に歌ひ、終りの二小節は次第に輕く歌はしむべし。

三、二分の二拍子は四分の四拍子より稍々速に歌はしむべし。

四、第一段中強、第二段前半強、後半中弱、第三段中強にて歌はしむべし。